ビジネスと生物多様性イニシアティブ ‘Biodiversity in Good Company’

ミッション・ステイトメント

（日本語訳：署名の際は、英語版または独語版をご利用ください。）

我々は、政治と社会と協調しながら生物多様性の保全と持続可能な利用に取り組んでいくため、大・中小企業が一つとなり、ビジネスと生物多様性イニシアティブ ‘Biodiversity in Good Company’ として連携し、生物種・生態系サービス・種の多様性の保全が気候変動問題と同様に我々の世代の重大な責任であることを認識する。

人間の生存基礎である地球上の自然の豊かさを保全し、その豊かさとあらゆる経済活動を共存させ、多彩な自然のニーズとうまく調和していくことが企業の最も重要な責任であると認識する。

自然に配慮した技術・製品・サービスの促進・普及を通じ、生物多様性の保全に向けた経済部門における自主的な取組みを支援し、革新（イノベーション）と投資（インベストメント）のための道を切り開いていく。また、天然資源の経済的利用によって生じる利益を天然資源の供給者に衡平に配分していく。

更なる生物多様性マネジメントの継続的発展に向けて、知識を深め対話を行うプラットフォームとしてこのイニシアティブを活用し、成功事例を通じて他の企業に実施事例や経験を発表していく。

イニシアティブ参加企業として、　我々の共通の課題・責任を見直し、自然に配慮した取組みを向上させ、自然保護のための連携を促進させるために、国内・国際レベルにおける学術、政治、経済、NGO、市民との開かれた対話を実施していく。

従業員をはじめ顧客や取引先さらに社会全体に、自然に配慮したライフスタイル・消費の価値と重要性の理解を広げるため、我々の知識や経験、実行力を活用していく。経済活動による自然への影響と両者の複雑な関係性についての知識や理解を深めるために貢献していく。

‘Biodiversity in Good Company’ イニシアティブの一員として活動する企業は、企業という立場から、国際競合という枠の中で生物多様性保全に向けた企業の取組みの新たな可能性や将来性を十分に引き出す政治的枠組みの構築に努めていく。

我々は、生物多様性の保全を持続可能な経営マネジメントに統合していく、また、そうした自然に配慮した企業活動を進展・啓発していく意思のある企業をより多く積極的に受け入れていく。

イニシアティブに参加する企業は、下記に挙げる項目を実施しなければならない。

- この「ミッション・ステイトメント」の目的と意義を理解し、
- イニシアティブの掲げる「リーダーシップ宣言」に署名し、
- 年２～３回行われるワークショップなどを通じて積極的に参加し
- イニシアティブが一体となって行う活動を参加費を通じて支援する

新たな企業の参加の承認は、イニシアティブ理事会によって行われる。

イニシアティブの歩み

ドイツは、2008年の国連生物多様性条約(CBD)第９回締約国会議の議長国であった。この役割を果たすため、ドイツ連邦環境・自然保護・原子炉安全省は、CDBの目的を実現する上での経済部門の明瞭な関与と、事業活動における生物多様性マネジメントへの取組みとその経験の共有を目的として、ビジネスと生物多様性イニシアティブ ‘Biodiversity in Good Company’を立ち上げた。この活動は、ドイツのCBD議長国の枠組みでの財政支援により2011年３月までドイツ環境省がプラットフォーム構築を支援する形で実施された。その後、生物多様性の重要性を尊重する参加企業は、イニシアティブとして自立した体制での継続を決定し、2011年夏、独立した組織を発足させた。